

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Application of:

Toru SUZUKI

Application. No.: to be assigned

Filed: April 20, 2004

:  
:  
:  
:  
:  
:

Group Art Unit: to be assigned

Examiner: to be assigned

Title: CONJURING TOOL FOR PERFORMING CARD TRICK

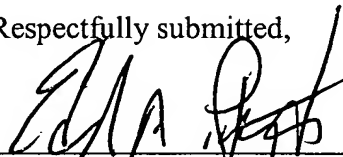
**CLAIM FOR PRIORITY**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, Virginia 22313-1450

Sir:

A certified copy of corresponding Japanese Application No. 2003-313833, filed September 5, 2003 is attached. It is requested that the right of priority provided by 35 U.S.C. 119 be extended by the U.S. Patent and Trademark Office.

Respectfully submitted,



Date: April 20, 2004

Edward A. Pennington, Reg. No. 32,588  
Swidler Berlin Shereff Friedman, LLP  
3000 K Street, NW, Suite 300  
Washington, DC 20007-5116  
Telephone: (202) 424-7500  
Facsimile: (202) 295-8478

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2003年 9月 5日

出願番号  
Application Number: 特願2003-313833  
[ST. 10/C]: [JP2003-313833]

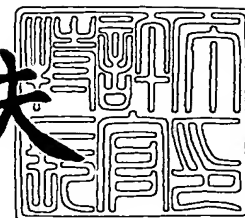
出願人  
Applicant(s): 株式会社テンヨー



2004年 4月 5日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-3027793

【書類名】 特許願  
【整理番号】 P15078  
【提出日】 平成15年 9月 5日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【発明者】  
    【住所又は居所】 東京都江東区千石 2 - 8 - 1 1 株式会社 テンヨー内  
    【氏名】 鈴木 徹  
【特許出願人】  
    【識別番号】 391010529  
    【氏名又は名称】 株式会社 テンヨー  
【代理人】  
    【識別番号】 110000073  
    【氏名又は名称】 特許業務法人 プロテック  
    【代表者】 秋本 正実  
    【電話番号】 03-3583-4414  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 153292  
    【納付金額】 21,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

手品具外部から挿入される、或いは予め挿入された紙幣やカード類を収容する空間である収容凹部が、手品具内部に形成され、

前記収容凹部に挿入された紙幣やカード類を、奥行きを感じさせる効果を有する特殊板を介して手品具外部より視認可能とする開窓部と、

挿入された前記紙幣やカード類と前記特殊板との間に配置され、透明部分と不透明部分とからなるフィルムと、

が備えられ、

前記フィルムは、前記紙幣やカード類の上を移動するよう構成されている

ことを特徴とするカード類トリック手品具。

**【請求項 2】**

前記収容凹部は、手品具内部に平行に備えられた 2 本のローラの間形成され、

前記フィルムは、前記 2 本のローラに取り付けられ、当該ローラを介してフィルム全体を動かすことにより、前記フィルムが、前記紙幣やカード類の上を移動するよう構成されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載のカード類トリック手品具。

**【請求項 3】**

前記フィルムは、前記紙幣やカード類の挿入方向と直交する方向に前記収容凹部を囲い、且つ前記フィルムの裏側通過部分が前記収容凹部と手品具の底面との間を通過するように前記 2 本のローラ間に掛け回され、

さらに、手品具の底面には前記フィルムの裏側通過部分を露出させる操作用開窓部が備えられており、

操作者が、前記フィルムの裏側通過部分を前記ローラの軸方向と略直交する方向に指で動かすことで、前記ローラを介して前記フィルム全体を動かすことができるよう構成されている

ことを特徴とする請求項 2 に記載のカード類トリック手品具。

## 【書類名】明細書

【発明の名称】カード類トリック手品具

## 【技術分野】

【0001】

本発明は、紙幣やカード類を使う手品具であって、特に箱の中に差し込まれた紙幣やカード類が観覧者の目の前で少しずつ消失したり、消失部分が目の前で少しずつ出現したりする錯覚を観覧者に与えることのできるカード類トリック手品具に関するものである。

## 【背景技術】

【0002】

従来、紙幣やカード類に限らず、ある対象物を箱の中に収納して蓋を閉じた後に再度この蓋を開けると、箱の中にあるはずの当該対象物が一瞬にして消失し、また蓋を閉じてから再度蓋を開けると、先程消失していた当該対象物が再び箱の中に出現する、という手品を行うための手品具は存在している。

【0003】

尚、上記の従来の手品具は公然実施されているものであり、本特許出願人は実施されている上記手品具を所有する、あるいは上記手品具を目撃してはいるが、これら従来技術が記載されている先行技術文献については所有していないため、本願発明に関する先行技術文献については開示していない。

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、従来のように、一旦箱に蓋をして対象物を観覧者から見えないように隠す動作を経て、ある対象物を消失させたり出現させたりするのではなく、対象物を観覧者の目の前で少しずつ消失させたり、対象物における消失した部分を目の前で少しずつ出現させたりする手品を行うための手品具は、今までに存在しなかった。ましてや、このような手品を行うための手品具であって、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるものは存在しない。

【0005】

そこで本発明の目的は、紙幣やカード類を使う手品具であって、箱の中に差し込まれた紙幣やカード類が目の前で少しずつ消失したり、消失した部分が目の前で少しずつ出現したりする錯覚を観覧者に与える手品を行うためのものであって、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるカード類トリック手品具を提供することにある。

## 【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明のカード類トリック手品具は、手品具外部から挿入される紙幣やカード類を収容するための収容凹部が手品具内部に形成され、また、前記収容凹部に挿入された紙幣やカード類を、モアレ現象によりつくり出された三次元模様によって奥行きを感じさせる効果を有する特殊板を介して手品具外部より視認可能とする開窓部と、挿入された前記紙幣やカード類と前記特殊板との間に配置され、透明部分と不透明部分とからなるフィルムとが備えられ、さらに前記フィルムは、前記紙幣やカード類の上を移動するよう構成している。

【0007】

また、上記カード類トリック手品具において、前記収容凹部が、手品具内部に平行に備えられた2本のローラの間に形成され、また前記フィルムが、前記2本のローラに取り付けられ、当該ローラを介してフィルム全体を動かすことにより、前記フィルムが、前記紙幣やカード類の上を移動するよう構成しても良い。

【0008】

さらに、上記カード類トリック手品具において、前記フィルムは、前記紙幣やカード類の挿入方向と直交する方向に前記収容凹部を囲い、且つ前記フィルムの裏側通過部分が前記収容凹部と手品具の底面との間を通過するように前記2本のローラ間に掛け回され、さ

らに、手品具の底面には前記フィルムの裏側通過部分を露出させる操作用開窓部が備えられ、操作者が、前記フィルムの裏側通過部分を前記ローラの軸方向と略直交する方向に指で動かすことで、前記ローラを介して前記フィルム全体を動かすことができるよう構成しても良い。

【発明の効果】

【0009】

本発明のカード類トリック手品具によれば、箱の中に差し込まれた紙幣やカード類が目の前で少しずつ消失したり、消失した部分が目の前で少しずつ出現したりするという不可思議さを観覧者に与えることができる。さらに、本発明のカード類トリック手品具は、構造が簡単であり且つ操作も簡単に行えるため、熟練したテクニックがない子供でも、本発明のカード類トリック手品具を用いて容易に手品を行うことができる、といった利点もある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

以下、本発明のカード類トリック手品具の一実施形態について、図面を参照して説明する。

【0011】

〔カード類トリック手品具の構成〕

まず、本実施形態のカード類トリック手品具1の構成を図1から図4を参照して説明する。本実施形態のカード類トリック手品具1は、図2に示すように、フレームケース10と、特殊板20と、基台30とから構成されている。次に、このカード類トリック手品具1の各構成要素について説明する。

【0012】

〔フレームケース〕

前記フレームケース10は、前記基台30に覆設可能な構造となっている。そして、このフレームケース10の少なくとも1つの側壁には、図2のように後述の如く紙幣やカード類を挿入するための挿入口11が設けられている。また、当該フレームケース10の上面（表側の面）には、挿入された紙幣やカード類を観覧者が視認可能とするための開窓部12が設けられている。

【0013】

〔特殊板〕

前記特殊板20は、当該特殊板20上に三次元模様をつくり出すものである。この特殊板20を観覧者が表面から見た場合、観覧者には、この三次元模様は奥行きがあり当該特殊板20の表面よりも沈んだ感じに見え、立体感があるように見える。尚、本実施形態では、斑点状の三次元模様をつくり出すが、この三次元模様の形態は任意に選定可能である。また、このような効果を奏する特殊板としては、例えばモアレ現象によって三次元模様をつくり出す特許第3131771号に記載のものがある。

【0014】

〔基台〕

前記基台30には、2本のローラ31が、当該ローラ31の軸方向が平行となるように取り付けられている。そして、このように取り付けられた各ローラ31の間に、後述の如く挿入される紙幣やカード類を収容するための収容凹部32が形成されている。また、これら2本のローラ31間には、透明部分と不透明部分とからなるフィルム33が、図2や図3のように、ローラの軸方向と直交する方向に前記収容凹部を囲い、且つ前記フィルム33の裏側通過部分が前記収容凹部と手品具の底面との間を通過するようにローラ31間に掛け回されている。具体的には、このフィルム33の表側通過部分が前記収容凹部32を覆い、且つ裏側通過部分が前記収容凹部32と基台30の底面（裏面）との間を通るように、2本のローラ31間に掛け回されている。

【0015】

さらに、このフィルム33の裏側通過部分を露出させる操作用開窓部34が、図4のよ

うに前記基台 30 の底面に設けられている。これにより操作者は、フィルム 33 の裏側通過部分をローラ 31 の軸方向と略直交する方向に指で動かすことができ、その結果、ローラ 31 を介してこのフィルム 33 全体を動かすことができるようになる。

#### 【0016】

尚、本実施形態では、このフィルム 33 として、透明のフィルムにグラデーションの模様が施されたフィルム（以下、グラデーションフィルムという）を使用するものとして、以下説明することとする。また、このフィルム 33 に施される不透明部分やグラデーション模様の色は、前記収容凹部 32 の底面の色と同一にする必要がある。

#### 【0017】

〔各構成要素の組み立て〕

そして、以上のような構造の各構成要素を、次のように組み立てることにより、図 1 に示すカード類トリック手品具 1 が完成する。

#### 【0018】

まず、上記のような構造の基台 30 の上に特殊板 20 を載せる。次に、この特殊板 20 の載った前記基台 30 に、前記フレームケース 10 を上方から覆設する。このとき、前記フレームケース 10 に設けられた挿入口 11 が前記収容凹部 32 の側面の開口部分に位置するように、当該フレームケース 10 を基台 30 に覆設する。このような手順により、前記収容凹部 32 は、図 3 に示すように、下からグラデーションフィルム 33、特殊板 20、開窓部 12 の順で覆われた状態となる。以上のように組み立てられることにより、図 1 に示すカード類トリック手品具 1 が完成する。

#### 【0019】

尚、本実施形態において前記特殊板は前記フレームケースと別体となっているが、この特殊板は、前記フレームケースの開窓部に嵌め込まれる構成となっても良い。

#### 【0020】

〔カード類トリック手品具の操作手順〕

次に、上述のような構成のカード類トリック手品具 1 を用いた手品の操作手順の一例を、図 5 から図 7 を参照して説明する。尚、本実施形態では、紙幣 100 を用いた手品の操作手順について説明する。

#### 【0021】

まず手品を始める前に、操作者は、操作用開窓部 34 にて露出しているグラデーションフィルム 33 の裏側通過部分を、ローラ 31 の軸方向と略直交する方向に指で動かし、グラデーションフィルム 33 において塗装されていない透明部分が、前記開窓部 12 内に位置するようにしておく。そして、このような状態で操作者は、以下の手順で手品を始める。

#### 【0022】

まず操作者は、図 5 のように紙幣 100 を挿入口 11 からカード類トリック手品具 1 の中に挿入する。このとき、挿入した紙幣 100 は前記収容凹部 32 内に収容された状態となる。尚、本実施形態では、紙幣 100 を若干折り曲げて挿入している。そして操作者は、観覧者に、開窓部 12 内に見える紙幣 100 を観察してもらう。尚、この操作において、始めに開窓部 12 に蓋（図示せず）をしておき、この状態で紙幣 100 を挿入し、しかる後に蓋を開けて観覧者に開窓部 12 内に見える紙幣 100 を観察してもらうようにしても良い。

#### 【0023】

このとき、開窓部 12 内を観察する観覧者には、上述のような効果を奏する特殊板 20 を介して紙幣 100 が見えるため、開窓部 12 内の紙幣 100 が透けているように見えてしまう。

#### 【0024】

この原理について以下説明する。まず、開窓部 12 内の紙幣 100 は特殊板 20 を介して視認可能であるが、この特殊板 20 の上記効果によれば、この特殊板 20 の三次元模様（本実施形態では斑点模様）は奥行きがあり当該特殊板 20 の表面よりも奥に沈んだ感じ

に見えるため、観覧者には、開窓部 12 内の紙幣 100 に重なって見える斑点模様が、何れも紙幣 100 よりも奥に存在するように見えてしまう。この原理により、観覧者には、開窓部 12 内の紙幣 100 が透けているように見えることとなる。

【0025】

尚、このとき、開窓部 12 内の紙幣 100 と特殊板 20 との間には、グラデーションフィルム 33 の透明部分が存在している。

【0026】

続いて操作者は、観覧者から見えないように、手品具 1 を把持する手の指を使い、操作用開窓部 34 にて露出しているグラデーションフィルム 33 の裏側通過部分を、ローラ 31 の軸方向と略直交する方向に動かす。このような操作により、グラデーションフィルム 33 全体がローラ 31 を介して動き出し、グラデーションフィルム 33 のグラデーション模様におけるぼかしの部分が徐々に開窓部 12 内に移動してくる。

【0027】

そして、このぼかし部分が開窓部 12 内に見える紙幣 100 と特殊板 20 との間に入り込んでくると、観覧者には図 6 のように開窓部 12 内の紙幣 100 が徐々に（本実施形態では紙幣 100 の下側から徐々に）消えていくように見え、さらに、ぼかし部分の内の色の濃い部分においては、完全に開窓部 12 内の紙幣 100 が消えてしまったかのように見えることとなる。

【0028】

この原理について以下説明する。開窓部 12 内の紙幣 100 と特殊板 20 との間に、収容凹部 32 の底面と同色のぼかし部分が移動してくると、このぼかし部分により、開窓部 12 内の紙幣 100 が徐々に隠されていく。しかしこのとき、開窓部 12 内に見える特殊板 20 の斑点模様は、このぼかし部分によって隠されることはなく、常に同じ位置に存在しており、しかもこの斑点模様は当該特殊板 20 の表面よりも奥に沈んだ感じで見え続けるため、観覧者には、あたかもこの開窓部 12 内の紙幣 100 が徐々に消えていくように見えることとなる。

【0029】

そして、さらに指を使ってグラデーションフィルム 33 全体を動かし続けると、開窓部 12 内の紙幣 100 はグラデーションフィルム 33 の濃い色の部分によって全て隠されてしまうため、上述の原理により、最終的には図 7 のように、観覧者には開窓部 12 内の紙幣 100 が全て消えてしまったかのように見えるようになる。以上のようにして、観覧者に、自身の目の前で開窓部 12 内の紙幣 100 が徐々に消失したという錯覚を与えることができるようになる。

【0030】

続いて、この状態から操作者は、これまでとは逆方向に指で操作用開窓部 34 におけるグラデーションフィルム 33 の裏側通過部分を動かし始める。すると今度は、完全に消えて見えなくなっていた開窓部 12 内の紙幣 100 が徐々に（本実施形態では紙幣 100 の上側から徐々に）現れ始め、図 6 のような状態を経て、最終的には図 5 に示す挿入時のように、透けた状態ではあるが、開窓部 12 内の紙幣 100 が全て視認できるようになる。こうして観覧者には、上述の原理により、一度目の前で徐々に消失していった開窓部 12 内の紙幣 100 が再度徐々に目の前で出現してきた、という錯覚を与えることができるようになる。

【0031】

尚、他の実施例として、手品具の構造を、例えば図 8 のようにしても良い。具体的には、図 8 の手品具 1a では、上記実施形態におけるフレームケース 10 と基台 30 とが一体となった形態の本体ケース 40 の上面（表側の面）に開窓部 41 が設けられ、且つこの開窓部 41 に、上記実施形態と同様の効果を奏する特殊板 42 が嵌め込まれている。また、前記本体ケース 40 の内部には、2 本のローラ 43 が、当該ローラ 43 の軸方向が平行となるように取り付けられており、このように取り付けられた各ローラ 43 の間に収容凹部 44 が形成されている。また、ローラ 43 の取り付けられている本体ケースの側壁に、こ



のローラ 43 の下を紙幣 100 やカード類が貫通可能な貫通口 46 が設けられている。さらに、前記 2 本のローラ 43 間には上記実施形態と同様のフィルム 45 が、図 8 (b) のように、挿入された紙幣 100 と特殊板 42 との間を通るように掛けられている。そして以上のような構成にすることで、フィルム 45 の不透明部分やグラデーション模様を、前記紙幣 100 やカード類の挿入方向と平行な方向に移動させることもできるようになる。

#### 【0032】

また、上記実施形態では、操作者が指でフィルム 33 を動かしているが、電動によりローラ 31 を回転させて、フィルム 33 を動かすようにしても良い。この場合には、例えば、ローラ 31 を回動させるためのモータ及びこのモータを作動させる電池等の電源を手品具 1 に内蔵させ、且つこのモータの回転方向を変換できるスイッチを基台 30 の底面部などに設けておく必要がある。これにより、操作者が観覧者に見えないように当該スイッチを操作してモータを作動させ、ローラ 31 の回転を制御することにより、フィルム 33 を動かすことが可能となるため、指をスムーズに動かすことができない初心者にとっても容易にこの手品具 1 の効果を達成することが可能となる。

#### 【0033】

また、上記実施形態では、フィルム 33 を 2 本のローラを介して動かしているが、例えば、フィルム 33 の端部、あるいはフィルム 33 の端部に繋がっている糸などを手品具の外部に露出させておき、操作者が当該フィルム 33 の端部、あるいは前記の糸などを把持して引っ張ることにより、フィルム 33 を動かすようにしてもよい。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0034】

【図 1】 本発明のカード類トリック手品具を示す図である。

【図 2】 図 1 のカード類トリック手品具の構成要素を示す図である。

【図 3】 図 1 のカード類トリック手品具の内部構造を示す断面図である。

【図 4】 図 1 のカード類トリック手品具を裏面から見た図である。

【図 5】 本発明のカード類トリック手品具に、紙幣を挿入した状態を示す図である。

【図 6】 本発明のカード類トリック手品具の操作により、開窓部内の紙幣が徐々に消失するように見える過程を示す図である。

【図 7】 本発明のカード類トリック手品具の操作により、開窓部内の紙幣が完全に消失したように見える状態を示す図である。

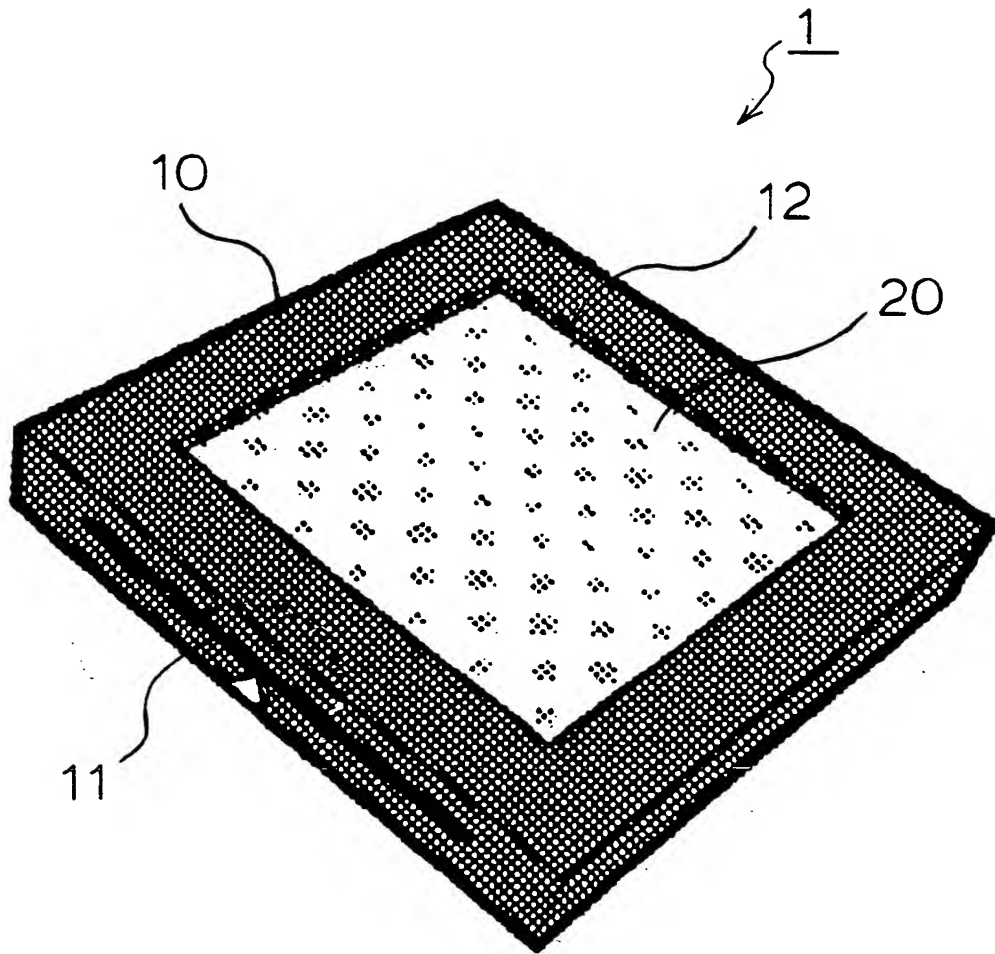
【図 8】 本発明のカード類トリック手品具の他の実施例を示す図であり、図 8 (a) は他の実施例における基台の構成を示す図であり、図 8 (b) は図 8 (a) の基台を用いた手品具に紙幣を挿入した状態を示す図である。

#### 【符号の説明】

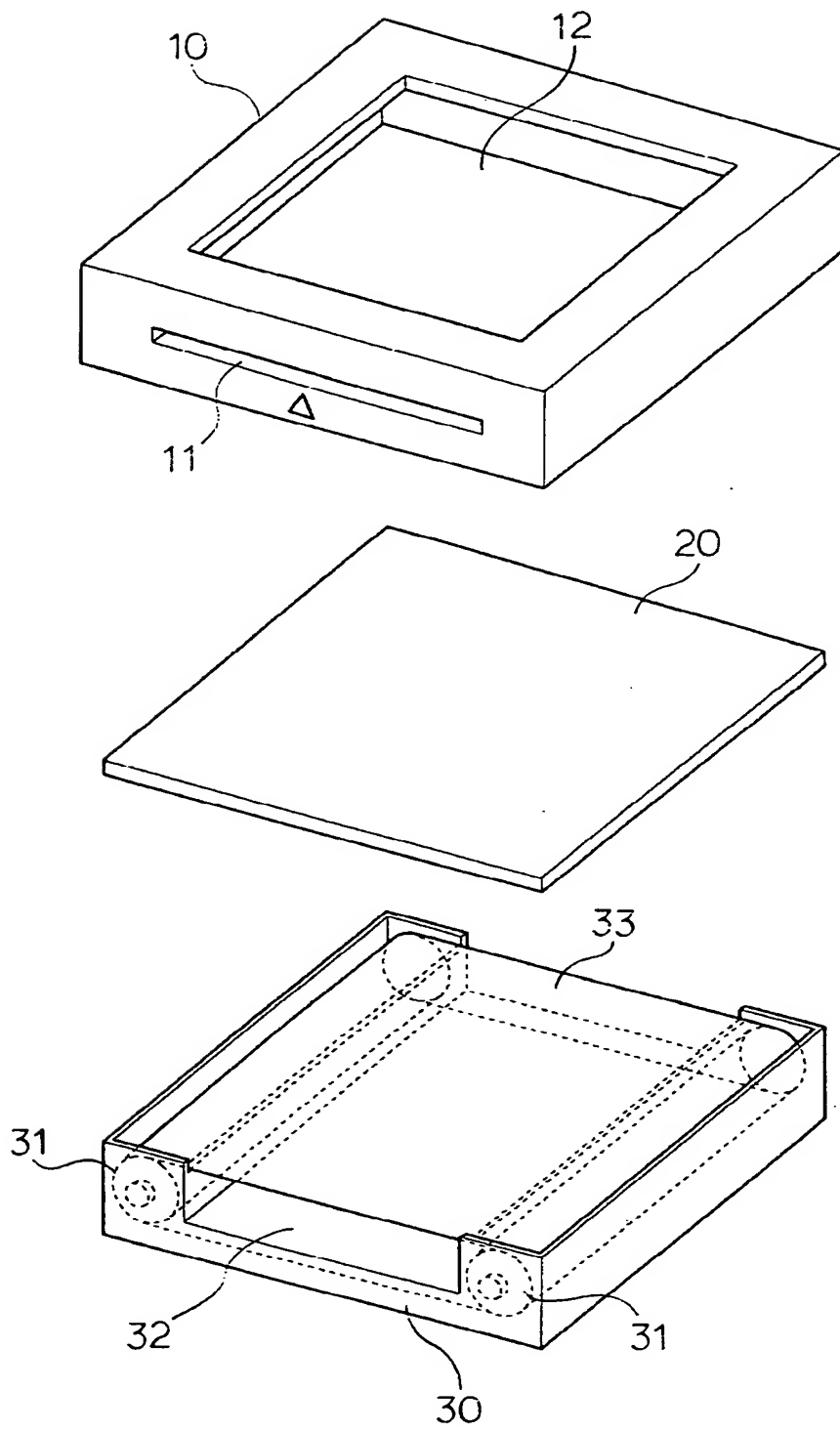
#### 【0035】

1…カード類トリック手品具、10…フレームケース、11…挿入口、12…開窓部、20…特殊板、30、30a…基台、31…ローラ、32…収容凹部、33…フィルム（グラデーションフィルム）、34…操作用開窓部、40…本体ケース、41…開窓部、42…特殊板、43…ローラ、44…収容凹部、45…フィルム、46…貫通口、100…紙幣。

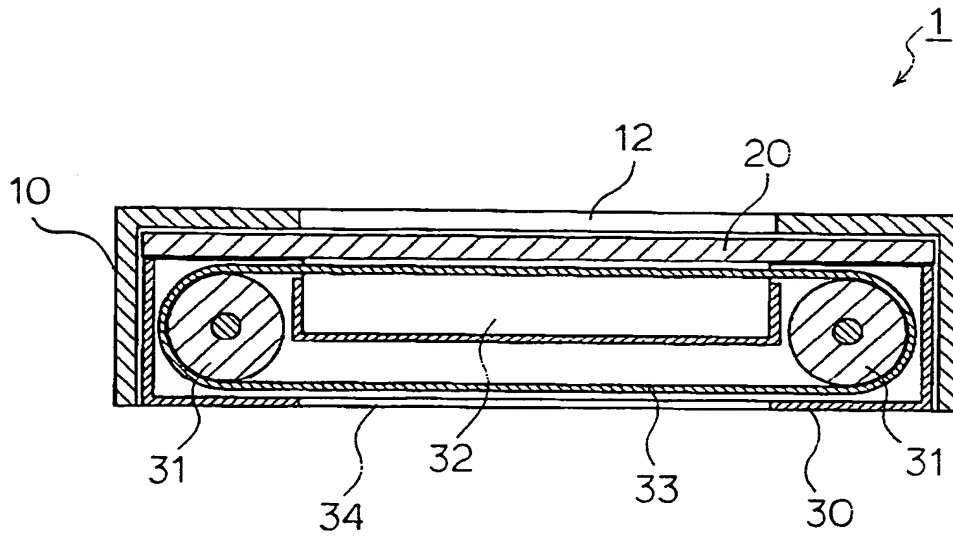
【書類名】 図面  
【図 1】



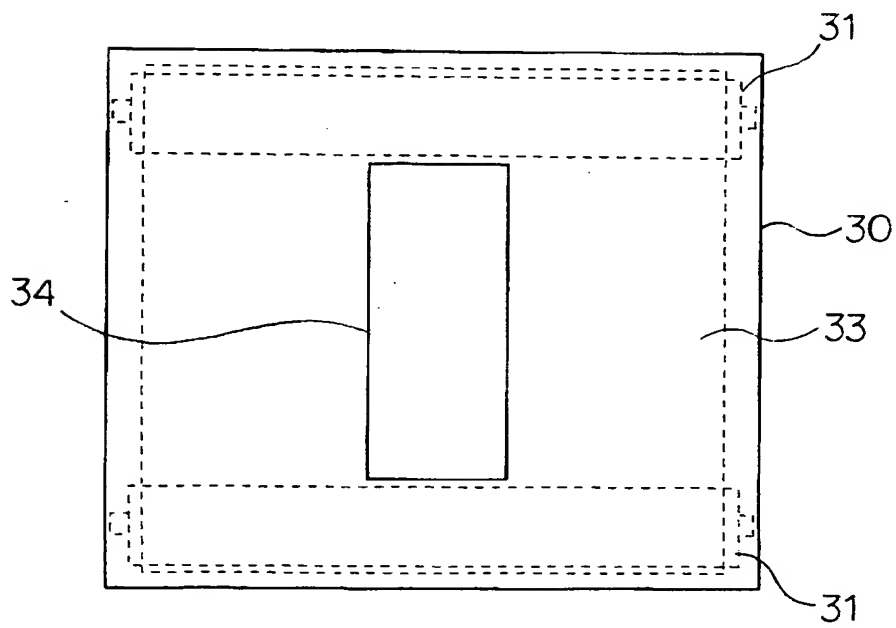
【図 2】



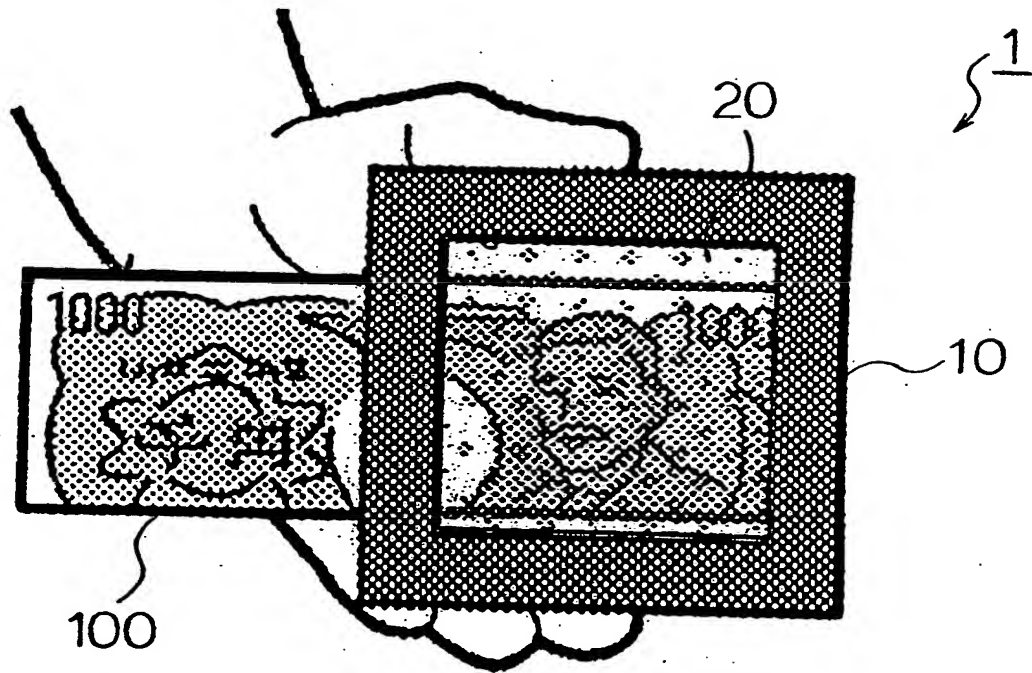
【図 3】



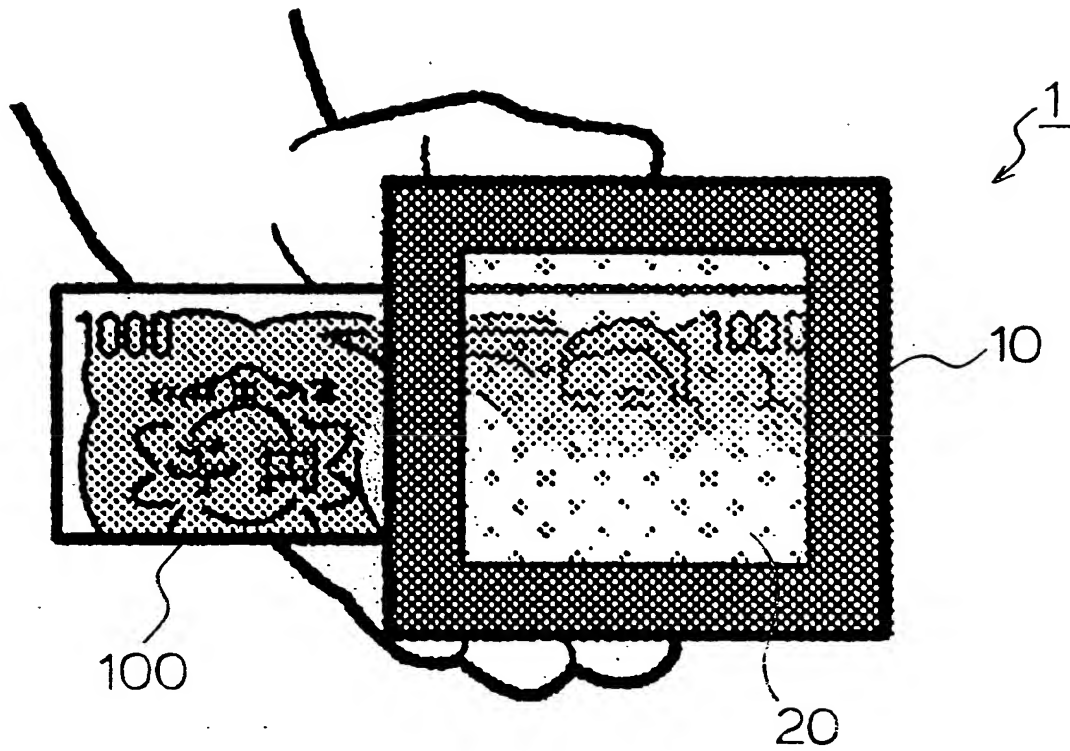
【図 4】



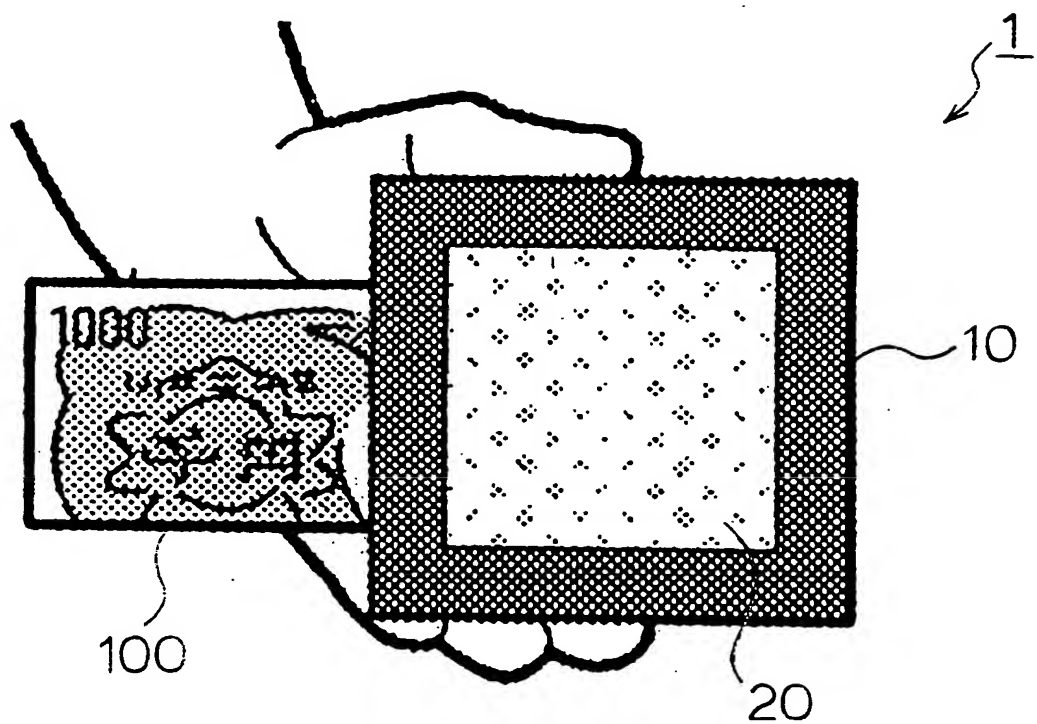
【図 5】



【図 6】

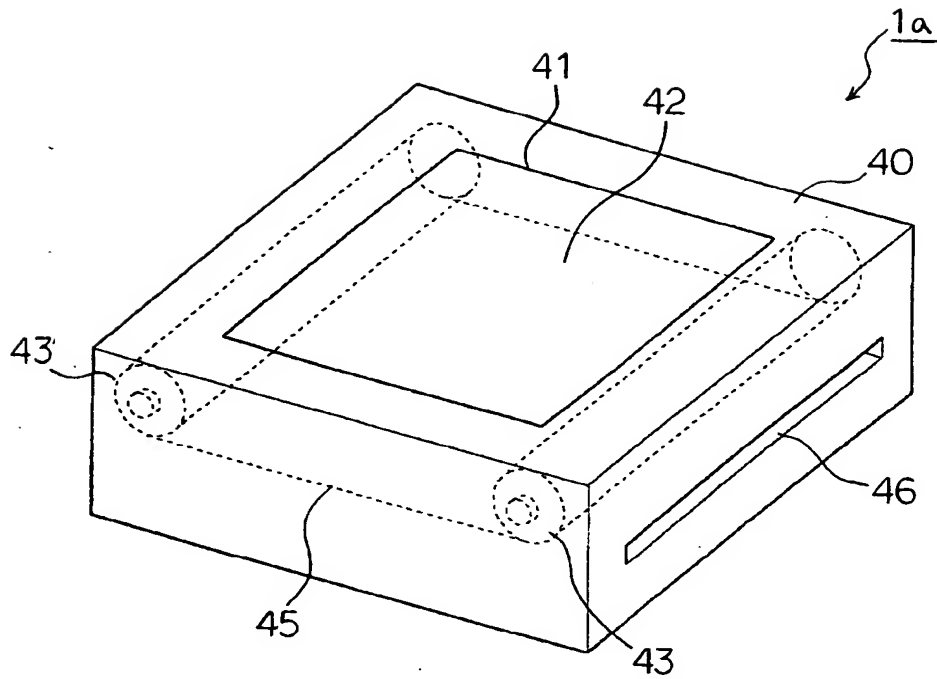


【図 7】

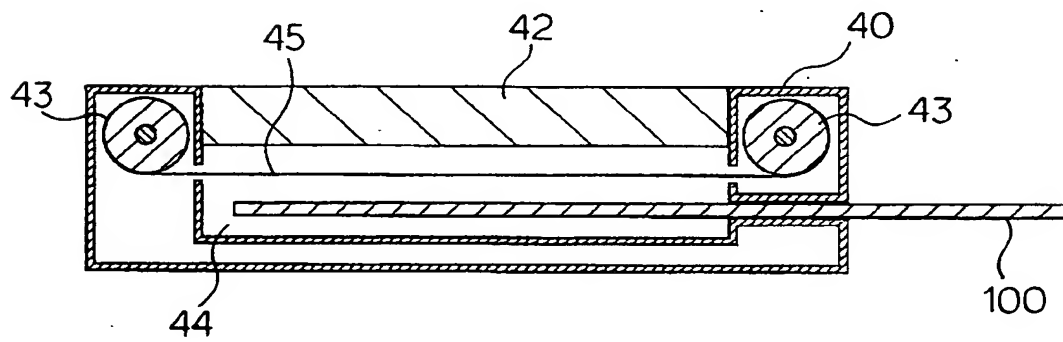


【図 8】

(a)



(b)





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 構造が簡単で且つ操作が簡単である手品具を提供すること。

【解決手段】 手品具外部から挿入される紙幣やカード類を収容するための収容凹部 3 2 が手品具内部に形成され、また、前記収容凹部 3 2 に挿入された紙幣やカード類を、モアレ現象によりつくり出された三次元模様によって奥行きを感じさせる効果を有する特殊板 2 0 を介して手品具外部より視認可能とする開窓部 1 2 と、挿入された前記紙幣やカード類と前記特殊板 2 0 との間に配置され、透明部分と不透明部分とからなるフィルム 3 3 とが備えられ、さらに、前記フィルム 3 3 が、前記紙幣やカード類の上を移動するよう構成されている。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 3 1 3 8 3 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 3 9 1 0 1 0 5 2 9 ]

1. 変更年月日	1 9 9 6 年 1 2 月 1 8 日
[変更理由]	住所変更
住 所	東京都江東区千石 2 丁目 8 番 1 1 号
氏 名	株式会社テンヨー